

2025



レポート

Mergenet Sustainable
Development Goals
Report 2025

2025.4 ▶▶▶ 2026.3

 株式会社 マージネット



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この製品は、FSC® 認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。誰一人取り残されない、あらゆる人が幸せに暮らし続けられる持続可能な社会を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

Contents

- マージネットのSDGs宣言 03
- 健全な経営に向けた取り組み 04
 - ・ 労働環境の整備・充実
 - ・ 資格の保持や情報発信・社員教育
- 品質とセキュリティに関する取り組み 08
 - ・ 情報セキュリティに関する取り組み
 - ・ 品質向上と改善への取り組み
- 環境保全への取り組み 10
 - ・ 人にも環境にも配慮したもののづくり
- より信頼される企業への取り組み 14
 - ・ CSR活動
 - ・ 会社見学・職場体験受け入れ

持続可能な社会を目指して マージネットのSDGs宣言

事業を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に
貢献することに真摯に取り組めます

マージネットは、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
全社員が主体的に課題解決に取り組み、地域社会やステークホルダーと共に
持続可能な社会の実現に努めてまいります。



マージネットのESGとSDGs

マージネットの社会におけるESGとSDGsの取り組みとの関係性

E

Environment (環境)

環境問題に対し、事業を通じ問題解決に努めています。

- 環境に配慮した資材調達
- 環境負荷軽減推進



S

Society (社会)

誰もが活躍できる職場づくり、地域・ステークホルダー
と協力し持続可能な地域社会の実現に努めています。

- ワークライフバランスの尊重
- 多様な人材が活躍できる労働環境
- CSR活動

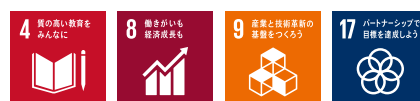


G

Governance (経営)

盤石な経営基盤を築き、経営理念である「お客様の
ベストパートナー企業」の実現に努めています。

- 品質向上と改善
- 業務の効率化・省人化
- 企業認証制度や資格の取得
- 社員教育



健全な経営に向けた取り組み

会社と社員、双方がより輝く世界こそ当社が目指す企業像です。

職場環境面の充実や、人材育成・経営基盤強化に取り組み

「強固な経営基盤のもと、柔軟な労働環境を実現し誰もが活躍できる職場づくり」を目指しています。



労働環境の整備・充実 >>

AEDの設置

社員がより一層、安心して働ける職場環境の整備、地域への貢献、CSR活動向上の一環として導入。
AEDを設置することで社員はもちろん、近隣住民の方々にも少しでも安心感を与え、不測の事態の際には、活用していただくこととしています。



AED



講習会

社内禁煙・分煙の実施

受動喫煙対策のため、本社の完全分煙化を実施、指定エリア以外での喫煙行為の禁止を徹底しています。

主な取り組み

- 1Fと2Fに喫煙エリアを設置
- 喫煙エリア以外での喫煙行為を禁止
- 喫煙エリアには排煙装置を設置



排煙装置

分煙・禁煙実施率
100%



労働環境の充実・整備

ワークライフバランスを尊重し、プライベートと仕事双方で充実した時間を過ごすことを目指しています。



年間休日
116日



有給消化率
31.7%
(前年 32.8%)



月間平均残業時間
19時間30分
(前年 20時間)



誰もが活躍し、働きやすい環境の推進

多様化する働き方に柔軟に対応できるよう、雇用形態や休暇制度を整備。誰もが活躍し、働きやすい企業を目指します。2021年度より育休休暇制度を4名利用しました。

男女社員の割合や障害者雇用状況

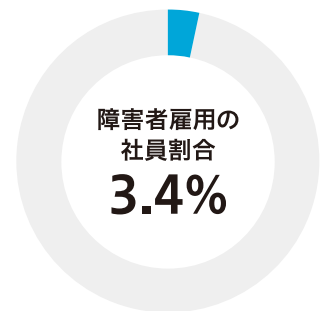
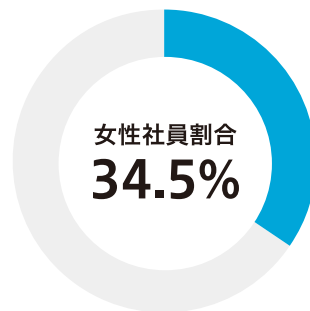
※連結：2025年3月現在 ※役員除く

■ 全社員(パート含む)29人

内訳：男性19名・女性10名・(うち障害者雇用1名)

■ 全国平均：36.2%

(総務省統計局の「労働力調査(2025年平均結果)」より)



主な支援や取り組み

- 産休休暇の推進 ■ 男性も含めた育休休暇の推奨
- 和歌山こどもまんなか応援団 参画
- これまで4人(計6回)が休暇制度を利用



産前産後休暇

98日



育休休暇

1歳の誕生日の前日まで

※本人の事情により、最大3年まで延長可能
(育休復帰後時短制度あり)



資格の保持や情報発信・社員教育 >>



企業認証制度や資格の取得・保持

健全な経営およびリスク低減のためにプライバシーマーク・環境推進工場など、様々な資格や企業認証制度を取得し、企業としてより信頼いただけるように努めています。

主な保有資格・認証

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ■ FSC®認証制度の保持・運営 | ■ 和歌山県1社1元気技術 登録企業 |
| ■ プライバシーマークの保持・運営 | ■ 和歌山こどもまんなか応援団 参画 |
| ■ 環境推進工場 認証企業 | ■ 1級印刷技能士資格の所持 |
| ■ CSRワンスター 認証企業 | ■ MUD資格の所持 |
| ■ 和歌山県経営革新計画 承認企業 | ■ DMマーケティングエキスパート資格の所持 |
| ■ 田辺市SDGs宣言制度 登録 | |



FSC®認証制度

環境ラベリング制度のひとつで、持続可能な森林活用・保全を目的として誕生したFSC(Forest Stewardship Council®:森林管理協議会)による、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度のことです。



プライバシーマーク認証

個人情報扱う企業として責任を果たすため、プライバシーマーク認証を取得。法令を遵守し運営に努めています。
当社では2018年に取得し、2026年に4回目の更新を完了。



環境推進工場 登録企業

環境推進工場は環境配慮基準(環境法規制など)を一定水準以上達成した企業を登録する制度です。
当社では2017年に認証され、2025年に5回目の更新を完了。



CSRワンスター認証

全印工連CSR認定制度において、当社のCSRへの取り組みが認められ、CSRワンスター認定を取得しました。
当社では2019年に申請し認証され、2025年に3回目の更新を完了。



社員教育の取り組み

自ら考え行動できる社員育成を目指しセミナーや委員会制度など勉強の機会を設けています。本書で紹介している資格や承認制度の大半を社員主導で取得するなど、一定の成果が出ています。また、展示会にも積極的に出展しています。

勉強会やセミナー・委員会活動など、多くの勉強の機会を設けています

- Webセミナーの受講
- 新入社員研修
- 社内委員会制度の実施
- 社外研修の実施
- 技能講習会の実施
- 展示会への出展

2025年度の出展状況

- モトヤコラボレーションフェア 2026
- page 2026
- 営業・マーケDXPO 福岡'25
- 営業・マーケDXPO 東京'25



委員会風景



展示会風景



自社情報の発信

オウンドメディアやアードメディアを積極的に活用し、自社情報の発信を行い、信頼や自社イメージの向上に努めています。

■ マージネットニュース

当社が毎月発行している社外報。自社の取り組みや出来事などを掲載し紹介しています。



■ Instagram(SNS)

マージネット公式Instagramを開設し、毎営業日更新しています。フォロワーも1,000人を突破。



■ 自社ブログ

自社運営の通販サイト内にて社員持ち回りで自社ブログを毎週更新しています。



■ 社内報

インタビュー、座談会、自社の取り組みや出来事などを社員や社員の家族の方々に周知するために毎月発行しています。



■ SDGsレポート

マージネットの1年間のSDGsに関する取り組みや活動をまとめたレポート。



■ 各種メディアに掲載

各種メディアから取材依頼を受け自社の情報を発信。



品質とセキュリティに関する取り組み

当社は、「常にお客様の視点に立ち、『感動していただけるサービス』を提供することにより、お客様のベストパートナー企業として、豊かな未来の創造に貢献すること」を経営理念としております。その理念のもと、CX面の強化や品質の向上、業務の改善に取り組んでいます。



情報セキュリティに関する取り組み >>

情報セキュリティに関する取り組み

機密情報を扱うためのセキュリティルールの設置や社内ネットワークから隔離したデータ入稿サーバーを完備、2018年よりプライバシーマークを取得し、個人情報やデータの漏洩防止を徹底しております。また、定期的に個人情報やセキュリティに関する社内啓発を行い社員の意識向上に努めています。

プライバシーマーク認証

個人情報を扱う企業としての信頼の向上と責任を果たすため、プライバシーマーク認証を取得、法令を遵守し運用しています。当社では2018年に取得し、2026年に4回目の更新を完了しています。



個人情報の漏洩や
セキュリティ関連のトラブル

0件



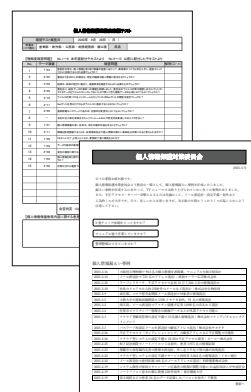
セキュリティルーム

個人情報を扱うための専用セキュリティルームを完備。定められた担当者以外の入退室を禁止し、セキュリティルーム専用のICカードでのみ入退室が可能です。また、使用するサーバーも外部はもちろん社内ネットワークからも隔離し、万が一の事態が起こらないよう万全の体制を構築しております。



社内啓発活動

個人情報の取り扱いに関するテストの実施や漏洩の事例共有を行い、社員の意識向上に努めています。



品質向上と改善への取り組み >>

品質管理室の設置と運営

品質向上と業務改善を目的とした品質管理室を設置、ミスや事故が発生した際の原因究明や改善策の考案・周知徹底を行い、よりよい製品づくりに努めています。

本年度の事故件数は前年に比べ、減少するという結果となりました。今後は社員一同より一層の事故削減に努めてまいります。

年間 総事故数

10件

(前年 24件)

総受注件数

5,433件

最長無事故継続日数

90日

2026年3月31日 現在

事故発生率
0.18%

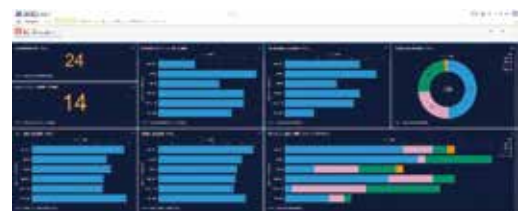
(前年 0.42%)

DX推進による業務の効率化・省人化

業務の効率化・省人化をはかるため、積極的にDXを推進しています。

主なDXの取り組み

- 営業支援SFA導入
- クラウド型一括業務管理ソフト「MIS」導入
- 社内チャットツール「Slack」の導入
- Web校正システムの導入
- クラウド型勤怠管理システムの導入
- Web会議・ミーティングの推奨



SFA画面

営業支援ツールを活用し、CXの向上に努めています。



MIS画面

見積から納品・請求書発行までを一元管理。全工程を見える化し改善点も素早く発見。



Slack画面

社内連絡や情報を共有し誰もが同じ認識のもと業務に取り組んでいます。



Web校正システムの画面

離れた地域の顧客ともデザインの修正や確認のやりとりがスムーズに。

環境保全への取り組み

世界各国でカーボンニュートラルが叫ばれ、今まで以上に企業の環境負荷軽減が求められています。当社でも FSC®COC 認証制度を取得するなど、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。「ものづくり」に関わる企業として責任ある行動を継続していきます。



人にも環境にも配慮したものづくり >>

環境に配慮した資材調達

当社では完全無処理版やベジタブルインキ、NLマークインキ、バナナペーパー、LIMEXなど人や環境に配慮した資材の調達を行なっています。また、2021年度よりFSC®認証紙の取り扱いもスタートしました。

完全無処理CTPプレートの使用

完全無処理版には、環境への配慮・作業の効率化・印刷品質の安定があります。

■ 環境への配慮

薬剤や水を使用しないので、廃液を排出しません。
現像機を使用しないため、電力の使用料を削減できます。

■ 作業の効率化

現像機のメンテナンスや薬品、現像液の温度管理、清掃、液の交換などの作業が不要になり、作業負担が大幅に改善されます。

■ 印刷品質の安定

薬品の影響による網点の変動がなく、網点管理も必要ないため、印刷品質も安定します。

年間のCO2削減量

45,934kg

植物油インキ・NLマークインキを使用

特殊なインキを除き全ての印刷物に環境に優しい植物油インキを使用しています。また、実際に印刷物を手に取るエンドユーザーや社員の健康にも配慮し、有害な化学物質などが使われていないNLマークが入ったインキを使用しています。



植物油インキマーク

主な取り組み

- 年間で約2,300kgの植物油インキを使用
- 全てインキにNLマークインキを使用
(有害な化学物質などが使われていないインキ)

年間の植物油インキ使用量

約2,300kg



印刷インキ工業連合会

NLマーク

FSC認証紙の取り扱い

持続可能な森林活用・保全を目的として誕生したFSC (Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会) より「適切な森林管理」がなされていると認証された認証林や環境・社会的なリスクが低いとされた原材料などから生産された用紙のことです。

FSC製品を企業が採用し、消費者が手にすることで、生産品を原材料として使う企業や事業者を支持することになり、世界全体の森林保全へとつながります。



FSC製品には上記ロゴマークを付与できます

FSC認証紙の特徴

- 管理された森林や環境リスクの低い原材料から生産
- SDGsの「14の目標と40項目のターゲット」に貢献
- 天然林の破壊を防ぎ森に住まう動物たちを守る
- 世界の森林の責任ある管理を支え資源循環型の社会形成を支援

年間の取り扱い件数

142件
(前年 42件)

LIMEX(ライメックス)の取り扱い

石灰石を主原料として製造される紙の代替製品LIMEXは、製造過程において通常の印刷用紙で使用する木材パルプを一切使用せず、水の使用量も大幅に削減できます。

水や森林資源といった枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することができます。



自社名刺にも採用

LIMEXの特徴

- 石灰石を主原料とし、水と木をほぼ使わず製造
- 高い耐久と耐水性
- SDGsの「8の目標と8項目のターゲット」に貢献
- 名刺100枚で約10ℓの水を節約
- 持続可能なアップサイクルモデル
(使用済みのLIMEXを回収しプラスチックの代替製品として再利用)



年間の取り扱い件数

29件
(前年 32件)

バナナペーパーの取り扱い

「アフリカ・ザンビア」で栽培されるバナナの「茎」を原料にして作られるフェアトレードペーパーです。バナナペーパーを使用することで、原産地の雇用創出や教育の提供など「SDGs」17の目標全てに貢献することができます。当社では印刷用紙として、活用・普及に取り組んでいます。

バナナペーパーの特徴

- SDGs 17 つの目標項目の全てに貢献
- 普段は「捨てられてしまう」バナナの茎の繊維を再利用した紙
- SDGsの取り組みの第一歩として最適
- 最後は土に戻る「生分解性」が環境に優しい



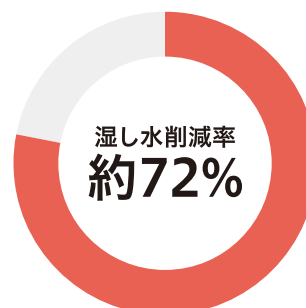
「アフリカ・ザンビア」で栽培されるバナナの「茎」が原料となっている

ろ過装置を導入し湿し水を再利用

印刷機を使用する際に必要となる湿し水と呼ばれる液体。以前はそのまま廃液として処理していましたが、ろ過装置を導入し、再び湿し水として利用することで年間の廃液量を大幅に削減することに成功しています。

湿し水再利用による水の削減量の比較

- 比較対象 ろ過装置 未使用時 / 使用時
- ろ過装置 未使用の場合 年間の廃液量 約6,480L
ろ過装置 使用した場合 年間の廃液量 約1,800L
- 結果 約72%の削減に成功



ろ過装置 未使用の場合 年間廃液量 約6,480ℓ — ろ過装置を使用した結果 年間廃液量 約1,800ℓ =

年間の湿し水削減量
約4,680Lの削減



作業工程で発生した損紙のリサイクルや廃液の適切な処理

印刷物を製造する際に発生した損紙や廃液・廃油は契約を結んでいる業者を通じ、損紙はリサイクルに出され、廃液は適切な処理を行い水質汚濁の防止を徹底しています。

廃液処理について

印刷時に発生した廃液・廃油の全てを「水質汚濁防止法」の規則に従い、有害物質の浄化処理・流出防止に取り組んでいます。



年間の廃液処理量

約4,700L

損紙のリサイクルについて

業務の過程で発生した損紙を「資源」として契約業者を通じ再利用。



年間の損紙再生利用量

約74,000kg

マージネットの年間CO2削減量を合わせると

(算出しているCO2削減量のみ)

全取り組み合わせて

約**46,753kg**の
CO2削減に貢献

それってどのくらい?

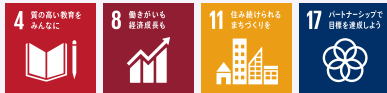
杉の木 約**3,340本**が
1年間で吸収するCO2の量に相当



50年生スギの人工林 1本あたりの年間CO2吸収量 約14kg (参照元: 関東森林管理局ホームページ)

より信頼される企業への取り組み

ステークホルダーのみなさまとコミュニケーションをはかり、より良い関係を構築することで、今以上に信頼される企業へと成長することを目的とした様々な取り組みを行なっています。



CSR活動



上富田町まちづくり応援企業制度に登録

企業が地域コミュニティの一員として活躍する機会の増大を図り、企業の意欲的かつ継続的なまちづくり活動への取り組みを促進し、積極的に取り組む企業の活動を広く周知する制度「上富田町まちづくり応援企業」に登録しています。

■富田川友遊フェスティバルへのボランティア参加 【イベントへの連携・協力】
富田川友遊フェスティバルの駐輪場管理ボランティアに参加しました。



ボランティア活動

第30回富田川友遊フェスティバルの駐輪場ボランティア・第28回紀州口熊野マラソンの給水ボランティアに参加しました。



子供たちに紙にふれる機会を「お絵かキッズプロジェクト」

印刷物製造時に、印刷も加工もされず破棄される紙「あまり紙」が部分的に発生することがあります。そんなあまり紙の活用と子供たちが紙に触れる機会を増やすことを目的としてプロジェクトを立ち上げました。地域の幼稚園や保育園の協力のもと取り組んでいます。

年間寄付実施件数

保育機関
4ヶ所



きしゅう君の家

本社周辺道路が通学路になっており、緊急事態の際に地域で子供たちを守るため、また安心して登下校できるように施設登録しています。



エコキャップ回収活動

エコキャップ活動を社内外で展開、地域のエコキャップ回収業務を実施。持ち込んでいただいた方に証としてオリジナルの受領証明証を発行しています。

回収したエコキャップは業者を通じ、様々な社会貢献活動に役立っています。

年間キャップ回収数

192,600個

(累計個数 1,0540,956個)

CO2削減貢献量

約1,334.6kg削減

※キャップ1kgで約3,150gのCO2が発生します

年間回収量

約423.7kg

エコキャップ持込団体数

6団体(個人2名含む)

主な貢献

- CO2の削減
- 障害者の雇用の創出
- 医療支援
- 子供たちへの環境教育



キャップを持ち込んでいただいた「上富田中学校の生徒さん」



自社オリジナルの証明証を発行



社内でのエコキャップ活動も7年目に突入



会社見学・職場体験受け入れ

「見せる工場・見えない情報」をテーマにクライアントや地域の学校を中心に会社見学・職場体験を受け入れ、自社のPR活動を行なっています。

年間受け入れ団体数

6社

(累計 82社)

年間受け入れ人数

22名

(累計 243名)

工場見学のお申し込みはこちらから





発行：株式会社マージネット SDGs推進委員会
本パンフレットで使用しているフォントは全てUDフォントです
2026年5月発行



■ 本社
〒649-2103 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬811-1
TEL.0739-83-3344(代) FAX.0739-83-3322

■ 東京営業所
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-8-3-4F
TEL.03-6712-6377

■ 和歌山営業所
〒640-8287 和歌山県和歌山市築港2-8-2
築港センタービル1階
TEL.073-425-3313 FAX.073-425-3349

■ URL <https://mergenet.co.jp/> ■ E-mail info@mergenet.co.jp

■ 調査期間 2025年4月～2026年3月